

環境と資源を守る

2020 三友グループの取り組み

～ 環境・社会報告書 ～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



三友グループはSDGsに取り組む
企業様・自治体様と共に活動を推進します

INDEX

編集方針	2
トップメッセージ	3
三友グループ事業概要	4
数字で見る三友グループ	5

トピックス

多岐にわたる廃棄物の処理	6
PCB廃棄物、汚染土壌処理事業	7
契約約款、電子マニフェスト登録	8
Onebox、環境関連薬剤	9
省エネルギー事業	10
食品リサイクル事業、NEDOの委託事業	11

環境報告

環境マネジメントシステムの実績	12
マテリアルフロー	13
環境負荷低減の取り組み	14

社会性報告

安全への取り組み	16
社員教育	18
社会貢献活動	20
環境コミュニケーション	22
アンケート	23

編集方針

三友グループの取り組み(環境・社会報告書)は、三友グループの2019年度のさまざまな取り組みについて、皆様にお伝えすることを目的としています。

本報告書は、三友グループの新たな取り組み、環境活動、社会活動を中心に作成しています。この報告書を通じて、多くの皆様とコミュニケーションを図っていききたいと考えています。

対象範囲

三友プラントサービス株式会社 (三友)
早来工営株式会社 (早来)

対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日

※ただし、当該年度以外の取り組みなどについても一部掲載しております。

発行日

2020年8月

公表媒体

冊子
三友グループのホームページ <https://www.g-sanyu.co.jp/>

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン」(2018年度版)

SDGsの取り組み

2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)を通じて、三友グループは豊かで活力ある未来を目指し今後も活動してまいります。該当する取り組みには、各項目の右上にロゴを表示しています。

お問い合わせ先

三友プラントサービス株式会社
環境・社会報告書 担当

〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台1-8-21

TEL : 042-773-1431

Mail : kankyo@g-sanyu.co.jp

トップメッセージ

2020年版環境・社会報告書が完成し、このトップメッセージを書いている7月17日は、東京都よりCOVID-19感染確認が293人と発表され、1日の感染者数が最多となると共に、全国的にも感染が拡大しています。罹患された方には心よりお見舞いと1日も早い回復をお祈り申し上げますと共に、感染の終息による平穏な日常の回復を願って止みません。

三友グループは、廃棄物処理業として緊急事態宣言時に事業継続が求められる事業者であり、その責任を果たすべく可能な限りテレワーク等により「三密」を避けながら、グループ一体となって業務に邁進しております。

昨年を振り返りますと、大量の高濃度有害物質(3万tの六価クロム汚染埋設物及び土壌)の処理を関係者の皆様と連携し運搬から処分までの管理を厳格化して無事完遂することが出来ました。また、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より受託した「パルプを用いたバイオエタノール生産に関する技術開発」での成果達成に引き続き、このバイオエタノールの改質による炭化水素燃料化の技術開発を追加受託し、技術の確立と事業性の検証を開始いたしました。

今後も、安全操業と適正処理を最優先とした産業廃棄物処理を事業の根幹としながら、環境に係る様々な分野で積極的な貢献を果たし、コーポレートスローガンである「環境と資源を守る」取り組みを強化していく所存であります。

皆様には今後とも引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、本報告書に対しまして、皆様から忌憚のないご意見やご感想を頂戴できれば幸いに存じます。

三友プラントサービス株式会社

代表取締役 小松 和史

早来工営株式会社

代表取締役 小松 稔明

経営理念

「環境と資源を守る」(コーポレートスローガン)

私たちの使命

三友グループは、長年にわたって産業廃棄物処理で培った技術と経験を活かし、幅広い対応力を持った環境と資源を守るプロフェッショナルとして、環境分野全般に関する最良のサービスをお客様の立場で提供することで、課題の解決と価値を創造し、資源循環型社会の実現に貢献します。

私たちの目標

三友グループは、廃棄物処理から環境分野の様々な課題に関する信頼度No.1の「ワンストップ・ソリューション企業」を目指します。

経営の指針

- ・常にお客様の立場に立ち、最良のサービスの提供で課題を解決し価値を創造します。
- ・コンプライアンスを徹底し、安全第一で健全な財務収支体質を目指すと共に、地域貢献も怠ることなく、社会的責任を全うします。
- ・社会の秩序や企業の健全な活動に脅威を与える反社会的勢力との関係を遮断し、経済的利益を提供しません。
- ・そこに働く人が社会に貢献する喜びと誇りを感じられる活力ある職場をつくります。
- ・環境と資源を守る技術開発に努めると共に個々の社員のスキルアップを支援し、パイオニア精神を持ち続けます。

環境方針

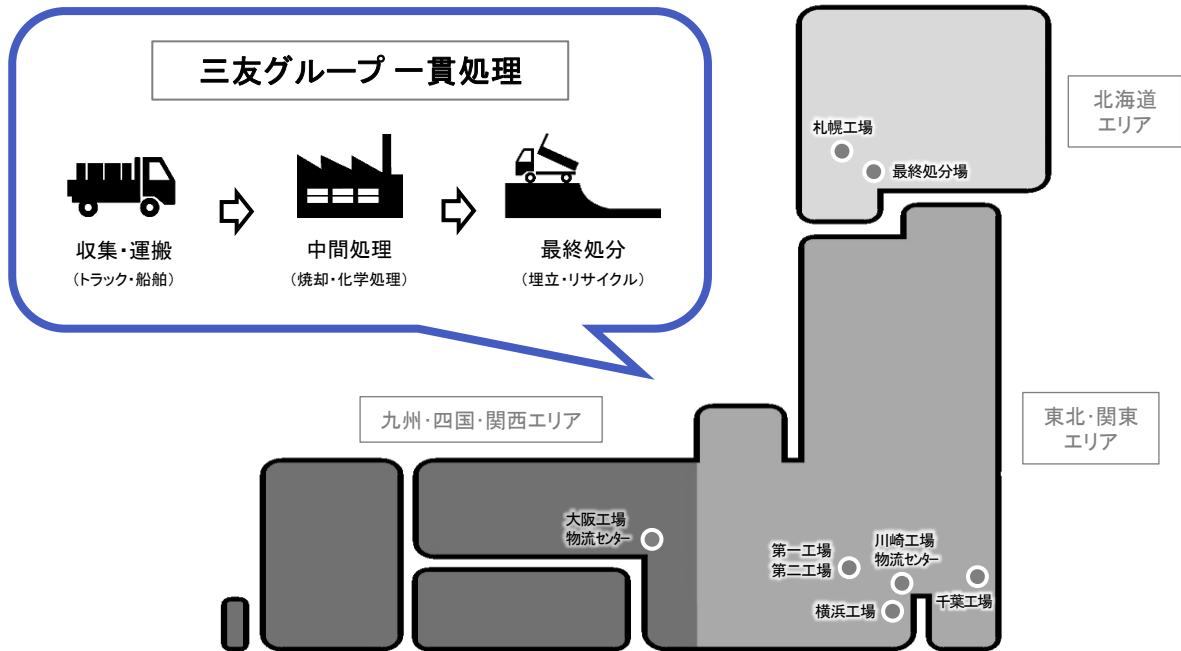
社長によって任命された環境委員会本部長が責任と権限を担い、環境マネジメントシステムを推進しています。環境方針は次の通りです。

三友プラントサービス	<p>当社は産業廃棄物処理会社として、第一工場、第二工場、横浜工場、千葉工場、及び川崎工場において、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理を核に、一般廃棄物中間処理コーヒー豆粕の飼料化の事業活動を行っており、並びに5箇所の営業所からなる全国規模の営業活動を展開している。また、フロン類の破壊処理による、オゾン層保護及び地球温暖化対策に取り組んでいきます。これらの活動は地球環境の保全に貢献するとともに、大きな影響を及ぼす可能性を持っている。私たちが一人ひとりがこの事を認識し、環境法規制及び当社が同意したその他の要求事項を順守するとともに、環境マネジメントシステムの継続的な改善を進め、汚染の予防に努めます。</p> <p>重点取組事項として、下記の事項に取り組みます。</p> <ol style="list-style-type: none">①エネルギーの有効活用による、地球温暖化対策への推進及びコストの適正化を進め、継続的な環境負荷の低減を図ります。②委託された廃棄物の管理を徹底します。③操業停止事故撲滅による、委託された廃棄物の安全、確実な処理を遂行します。④PFOS含有廃棄物の適正処理を推進します。⑤食品残渣の有効活用により食品循環資源の再生利用を促進します。⑥社内、社外のコミュニケーションを充実させ、人材育成、技術力の向上を図ります。 <p>三友プラントサービス株式会社 環境委員会本部長 小松 洋文(常務取締役)</p>
早来工営	<p>当社は産業廃棄物処理会社として、果たすべき社会的役割の重要性を認識し、事業活動を通じて、良い地球環境を次世代に継承することを使命として社会に貢献してまいります。</p> <ol style="list-style-type: none">①安全第一を基本とし、汚染の予防に努め、安心・信頼される企業を目指します。②地球温暖化防止のため、省資源、省エネルギーを推進します。③ステークホルダーとのコミュニケーションを図り、環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。④環境関連法令、条例、協定を順守し、環境保全に努めます。⑤人材育成を継続的に行い、地球環境を守る事業であることに対する自覚を持ち、行動いたします。⑥環境目的及び目標を定め、継続的に環境改善活動を行います。 <p>早来工営株式会社 環境委員会本部長 浦本 英之(取締役)</p>

三友グループ事業概要

産業廃棄物の一貫処理・バックアップ体制

- ◇ 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物（処理が難しい化学系廃棄物や工場系廃棄物も実績があります）
- ◇ すべての工程がグループ内で対応可能（収集運搬 → 中間処理 → 最終処分）
- ◇ 全国をカバーした広域的なバックアップ体制



汚染土壌の浄化処理

- ◇ 汚染土壌の調査・分析・処理
（処理方法：洗浄・化学脱着・不溶化・分別・埋立）
- ◇ 重金属とともに水銀やVOC汚染土壌の処理が可能

フロン・PFOSの処理

- ◇ フロン類の破壊処理
- ◇ 消火液に含まれる有害物質（PFOS）の無害化処理

省エネルギー事業

- ◇ 省エネルギーコンサルティング業務
（グループ会社：三友エンテック株式会社）

PCB事業

- ◇ PCB廃棄物のコンサルティング業務
- ◇ PCB廃棄物の収集・運搬

資源のリサイクル

- ◇ 油の回収・再利用
- ◇ 有価金属・レアメタル
- ◇ 食品リサイクル

一般廃棄物処理

- ◇ 北海道安平町（コンポスト）、石狩市（動植物性残さ）
- ◇ 石狩市の一般廃棄物処理施設の運営
（グループ会社：石狩三友メンテナンス株式会社）

設備の清掃・メンテナンス

- ◇ タンク・ピット等の廃棄物の抜き取り、清掃
- ◇ 排水管等の高圧洗浄作業・調査

有機性廃棄物の再利用

- ◇ 肥料化、土壌化
- ◇ 各種作物栽培方法開発・提供・サポート
（グループ会社：株式会社緑産 <静岡県田方郡>）

数字で見る三友グループ

創業

72年

1948 → 2020



従業員

416人



処分許可品目

122品目



動物のふん尿、動物の死体、輸入廃棄物、PCB廃棄物、指定下水汚泥、廃水銀等、ダイオキシン類を除くすべての廃棄物

収集・運搬エリア (早来工営)

47都道府県



分析室

7ヶ所

内、計量証明事業所 4ヶ所



優良産廃処理業者認定

100%



収集・運搬業(早来工営)

認定数 98
許可数 98

100%



処分業

認定数 12
許可数 12

施設見学

851件



特別管理産業廃棄物を含む多岐にわたる廃棄物の収集・運搬、処分を行っています。対応が難しい廃棄物は、お客様と協議の上、分析、調査、処理方法の検討をし、内容によっては監督官庁より了承を得て対応しています。

2019年度 主な実績

- ◇ 特別管理産業廃棄物の処理
- ◇ 強酸・強アルカリの処理(焼却、中和)
- ◇ 濃硫酸設備の洗浄
- ◇ 高濃度アンモニア水の回収、処理
- ◇ アンモニア水、汚泥の処理
- ◇ フロン類の破壊処理 (P14参照)
- ◇ PFOS廃棄物の処理
- ◇ 廃試薬類の処理(内容不明物は判定後、処理)
- ◇ 特殊廃棄物(金属ナトリウム等)の処理
- ◇ 特定有害(シアン化合物等)を含む廃棄物の処理
- ◇ 電池(乾電池、Li電池、Liイオン電池)の処理
- ◇ アンモニアガス分解処理
- ◇ 金属水銀の回収
- ◇ 機器(有害物付着)の洗浄
- ◇ 大量の廃棄物(特管含む)の保管と処理
- ◇ 廃棄物のセメントリサイクル(混合処理)



特別管理産業廃棄物の処理

全7工場で特別管理産業廃棄物の処理を行っています。処理方法は、焼却、中和、シアン分解、不溶化処理で、中間処理量の約4割が特別管理産業廃棄物です。分析室や技術サポートチームがあり、お客様のお困り事や特殊なケースについては、専門スタッフが調査、処理ご提案、作業、安全確認、報告書の作成等を行っています。

特別管理廃棄物とは

廃棄物処理法では、「爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有する廃棄物」を特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物として規定し、必要な処理基準を設け、通常の廃棄物よりも厳しい規制を行っています。



大量の高濃度有害物質の処理

高濃度有害物質(六価クロム)で汚染された約30,000tの土地の埋設物及び周辺の汚染土壌を工事関係者と協議・検証を重ね、徹底した管理の下、処理を行いました。

(特管)産業廃棄物処理と汚染土壌処理(P7参照)がある複雑なケースも対応が可能です。

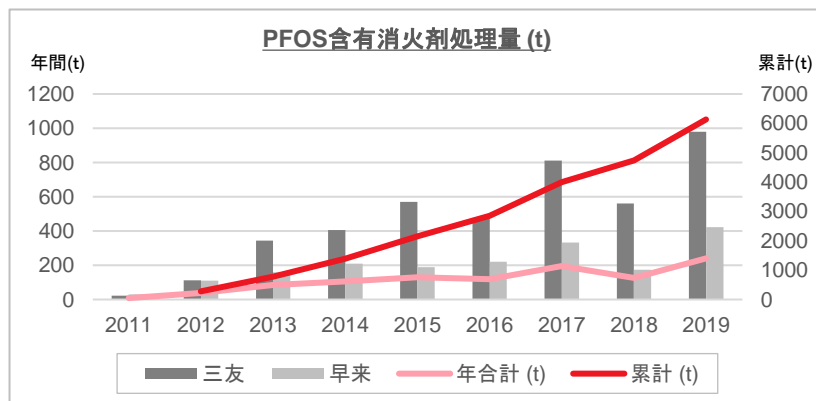


川崎工場へ搬入



PFOS廃棄物の処理

横浜工場、千葉工場、大阪工場、札幌工場では、監督官庁より分解処理の了承を得て、2011年よりPFOS含有物の無害化処理を行っています。また、4工場共に消火器リサイクル広域認定の処理工場として、各地域の消火器リサイクル推進センターのPFOS含有泡消火剤及びPFOS付着の消火器容器や付属品等の処理を進めています。



PFOS(ペルフルオロオクタンサルホン酸)とは

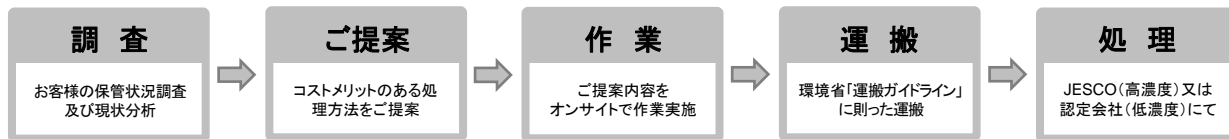
界面活性剤として半導体のレジスト、中性強化液消火液などに用いられてきた物質。2009年5月の残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約「POPs条約」において、付属書に追加採択されたことを受け、2010年4月にPFOS又はその塩を第一種特定化学物質に指定。



PCB廃棄物のコンサル及び運搬事業

PCB廃棄物の汚染拡散の防止・無害化処理の推進・処理費用の削減を目指して、お客様の保管実態を精査し、対象機器類のPCB含有(高濃度・低濃度)・非含有を明確にして、最適なソリューションのご提案をするコンサルティング業務を行っています。

サービスの基本的な流れ



1 PCB受入施設(川崎工場)

2017年10月より早来工場の川崎工場ではPCB受入施設を稼働し、大型トランスの分解・解体や積替保管を利用した効率的な収集運搬を行っています。



2 安定器のJESCO荷姿登録

作業はPCB使用・不使用調査からJESCO登録資料等の作成までサポートしています。2019年度では約5万個の安定器作業に携わり、30%ほどの減量に貢献しました。三友プラントサービスは、公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団が主催する廃安定器のPCB使用・不使用の分別に関する研修会に参加しています。

取り扱い実績

取り扱い実績
(2019年度)

約 1,300t

《実績例》

- 安定器** 行政案件 約22,000台の安定器を仕分け・分別し、高濃度PCB廃棄物を約30%減量化。
- トランス** 非鉄メーカーにて約100t、自動車関係にて約170tなどを処理。

汚染土壌処理事業



汚染土壌浄化に1990年から取り組み、現在では、汚染土壌の調査、汚染土壌除去工事の計画、現地工事(掘削除去・埋め戻し)、搬出・運搬、処理(洗浄、化学脱着、不溶化、分別、埋立)、報告書の作成、行政への届出など、様々なサービスを行っています。

サービスの基本的な流れ

- 役所の届出
形質変更時要届出区域内における土地の形質の変更届出書(法12条)及び汚染土壌の区域外搬出届出書(法16条1項)等の届出を弊社にて対処します。
- 現地工事
現地測量、掘削工事施工・管理、埋め戻し、搬出等の全てを対処します。
- 運搬・処分
対象地の状況により運搬車の種類・台数を手配、最短で汚染土壌を搬出・処分します。



現地工事(掘削・搬出)



現地工事(埋め戻し)

処理施設案内

所在地

早来工営株式会社 川崎工場
神奈川県川崎市川崎区扇町6-1

処理能力

洗浄処理 960t/日
化学脱着処理 423m³/日
不溶化処理 876m³/日
分別等処理 1,440m³/日

汚染土壌処理業 許可番号

第08610010002号

対象物質

第1種特定有害物質(揮発性有機化合物)
第2種特定有害物(重金属等)
第3種特定有害物質(農薬等)(PCB除く)



2020年4月1日に汚染土壌処理業許可証が更新され、VOCの処理方法が熱脱着から化学脱着へ変更になりました。より確実な処理を実現いたします。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により産業廃棄物の収集運搬や処分を委託する際に作成を義務付けられている契約書に関して、コンプライアンスと生産性向上の観点から、その様式を独自に検討し、契約の共通部分を約款化し、ホームページに掲載した上で簡易な新様式での契約締結をしています。



現在、新規契約の大多数がHP約款締結になっています。
今後さらに個別取引条件の電子契約を進めてまいります。



※本件は、e-文書法に沿ったもので廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に準拠していることを関係行政機関に確認済みです。



メリット 1 コンプライアンスの徹底

- ・ 常に最新の関係法令に対応
- ・ 最新施設の利用可能
- ・ 添付すべき許可証の最新版かつ正確性を実現



メリット 2 契約書作成作業の負担軽減

- ・ 契約書の印刷や綴り作業の簡素化
- ・ 許可証等契約書に添付すべき書類をホームページにも掲載、提供による、対象契約書への連綴が不要

電子 manifests 登録支援サービス

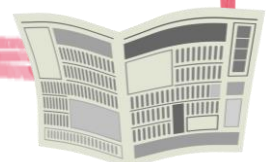
公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターの電子 manifests を利用しているお客様に対して、電子 manifests の簡易登録サービスを無料提供し、発注手続きの負担を低減しています。

当サービスの特徴

- ・ ご依頼内容を三友グループで受注登録し、お客様にJWNet画面から取り込みが行える電子 manifests CSVデータをメール配信。
- ・ 電子 manifests 登録の負担減。
- ・ 複数の電子 manifests を一括で登録可能。
- ・ 複数人にメール配信が可能。廃棄物の情報共有ができる。

この取り組みについて
下記の新聞に掲載されました！

日刊工業新聞 2020年4月8日
環境新聞 2019年11月13日



ご利用のお客様の声

多品種の薬品廃棄の時、manifests の登録件数が多く入力業務に心配が
ありましたが、このサービスを利用して業務負担が軽減されました。

統合ファシリティ管理システム『Onebox』

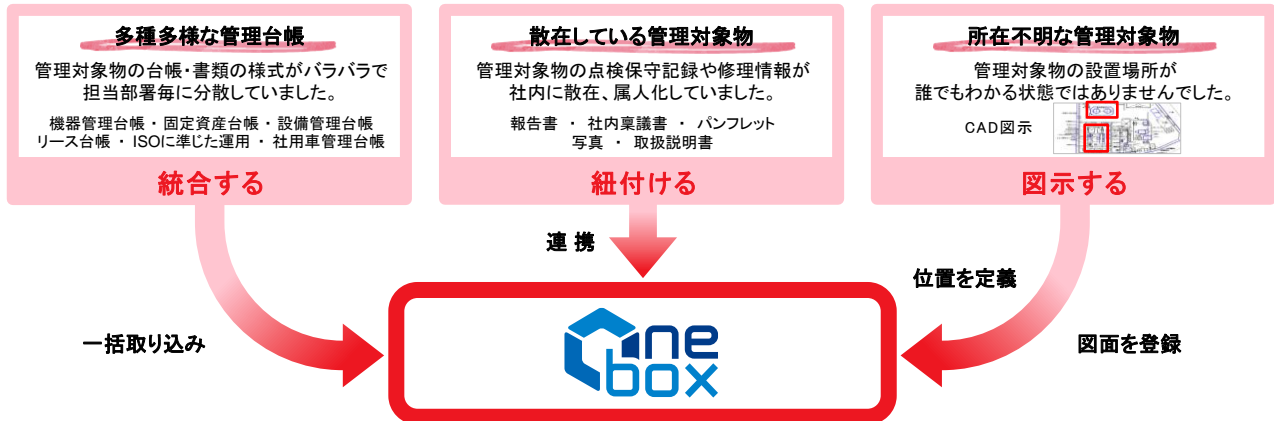


三友グループでは、工場現場での装置、設備、機器、車両などの管理システムとして「Onebox」の導入を開始しました。今後は工場見学なども「Onebox」を使用して説明を行っていく予定です。

また、「Onebox」の開発元であるラボ・デザインシステムズ株式会社と協定契約を締結しており、各企業、学校法人、医療機関などへの販売を行ってまいります。

Oneboxとは

企業、学校、組織団体やその他公共施設が所有する多種多様な管理情報を統合し、物の所在（設置場所）を図面に表示する機能を備えた統合ファシリティ管理システムです。



三友グループへの導入事例

01 全工場

点検、保全、修理記録の全社共通フォーマット且つ共通データベース化による管理で引継ぎ業務の簡便化、記録のデータ化により、安全の確保と中長期修繕計画の資料作成に活用しています。

02 早来支店（最終処分場）

埋立が進んでいる場所の可視化、埋立場所とマニフェストデータを紐付、廃棄物の埋立場のトレーサビリティ管理を行っています。

環境関連薬剤



三友グループでは、多岐にわたり廃棄物を処理し、多くの処理検討を行っています。それらの経験より、お客様の設備やニーズに合った環境関連の薬剤を販売しています。

主な販売薬剤

酸化マグネシウム固化剤

フッ素、鉛、砒素等の有害物質の不溶化剤

キレート剤

焼却飛灰の処理用として、汚染土壌、排水処理用として、特にアルカリ条件下でも有効

主な販売先

廃棄物処理業者、行政のクリーンセンター

メリット 1 処理効果が高い

- 最適な処理方法、処理薬剤、薬剤量を検討し、ご提案
- 三友グループで使用している信頼できる処理薬剤

メリット 2 薬剤費の削減

- コストメリットのある薬剤をご提案

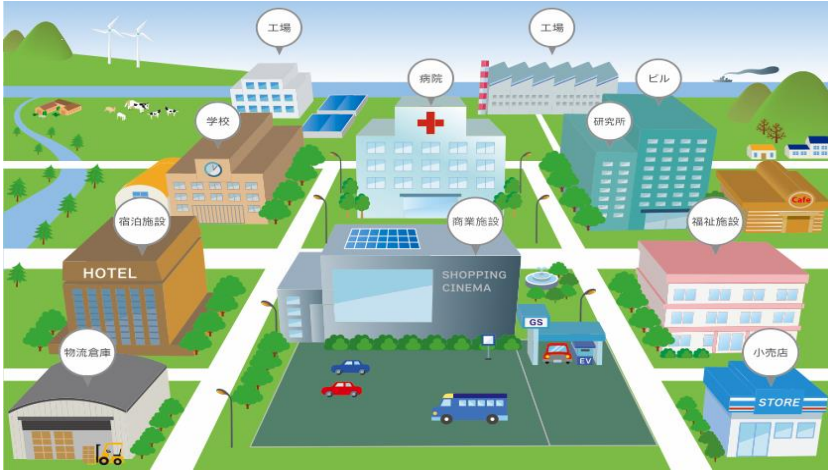


分析室にて最適な薬剤を検討

『三友エンテック株式会社』の設立から4年。あらゆる設備の省エネに関するトータルサービスを提供しています。
ESCO(※1)サービスでは、「初期導入費ゼロ」、「サービス料の支払いは成果報酬型」(※2)、「お客様によるメンテナンス不要」を実現しています。

(※1)ESCO(energy service company)とは、省エネルギー効果が見込まれるシステムを提案し、設備設置工事・維持・管理まで含めた包括的なサービスを提供する事業です。
(※2)ESCOサービスの契約内容により対象外となる場合もございます。

対象施設



工場、研究所、学校、病院、
福祉施設、宿泊施設、商業施設、
小売店、飲食店など！



設備導入事例

01 株式会社アール・アール・シー

- ▶ 施設概要 産業廃棄物焼却施設
- ▶ 契約方法 ESCO+補助金
- ▶ 契約期間 5年
- ▶ 省エネ手法 誘引ファン・白煙防止ファンのインバータ制御

- ▶ 削減電力量(年間) **428,588 kW**
- ▶ 削減率 **30.0%**
- ▶ 削減電気使用料金(年間) **6,475,956 円**



02 医療法人静和会 浅井病院

- ▶ 施設概要 精神科病院(460床)
- ▶ 契約方法 ESCO
- ▶ 契約期間 5年
- ▶ 省エネ手法 照明のLED化

- ▶ 削減電力量(年間) **351,270 kW**
- ▶ 削減率 **61.8%**
- ▶ 削減電気使用料金(年間) **6,065,598 円**



事業成果

累計お客様数(2016~2020年3月)

91法人 132事業所



CO₂削減量※
6,292 t

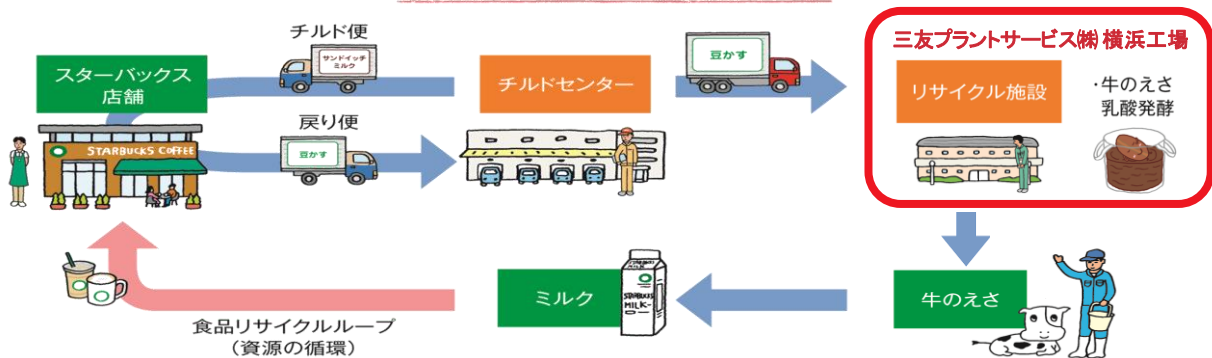
※ CO₂削減量はお客様施設における実質数字ではなくサービス導入時の予測数値です。



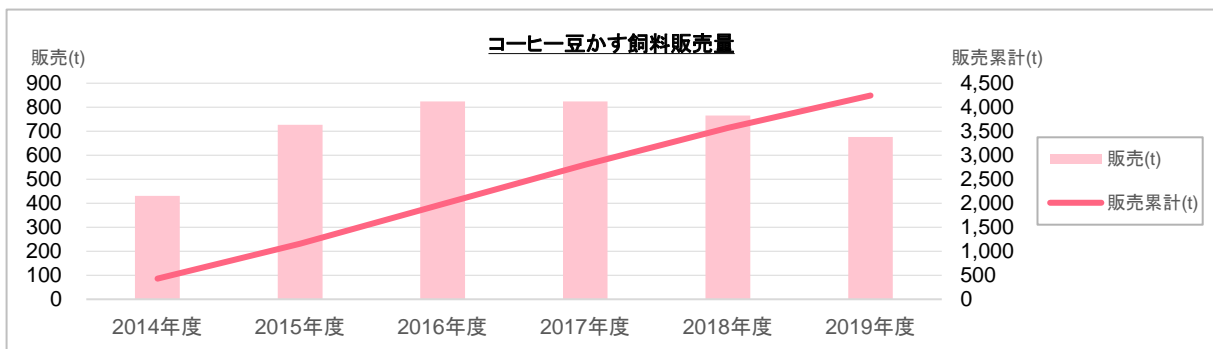
食品リサイクル事業

横浜工場では、2014年4月よりスターバックス コーヒー ジャパン株式会社の関東一部店舗より発生するコーヒー豆かすを乳酸発酵させ嗜好性・日持ちを改善し、乳牛用の飼料にリサイクルしています。

コーヒー豆かすリサイクルの流れ



※三友プラントサービスは、コーヒー豆かすを飼料化する目的で一般廃棄物処分業(横浜市)の許可を取得しています。(許可年月日:2014年2月1日)
 ※本事業は、スターバックスコーヒージャパン株式会社が食品関連事業者となり、食品リサイクル法に基づく「再生利用事業計画(食品リサイクルループ)」の認定を受けています。(認定日:2014年3月28日)



NEDOの委託事業

2015年度より国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、NEDO)の委託事業を実施しました。

研究項目

『セルロース系エタノール生産システム総合開発実証事業』

パルプを用いた水蒸気爆砕法による
バイオエタノール生産に関する技術開発および事業性評価

実施体制

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

《共同研究》三友プラントサービス(株)、(株)Biomaterial in Tokyo
 《再委託》日揮(株) 《共同実施》(国研)産業技術総合研究所

2019年度の取り組み

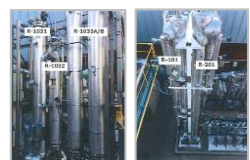
セルロース系廃棄物(廃パルプや廃菌床など)を原料とし、水蒸気爆砕法によるバイオエタノール生産に関する技術開発・実証試験を実施しており、2019年度は「生産規模拡大のための原料の多様化」、「プラント建設コスト低減のためにプロセス改善」、「糖化酵素コスト削減のための酵素生産、利用技術(※)」等の検討を行いました。



パイロットプラント
(水蒸気爆砕・酵素糖化・発酵施設、ATJ施設)
三友グループ川崎地区に設置

(※) 利用技術(エタノールの用途拡大)

バイオエタノールを原料としてドロップイン燃料(ガソリン、軽油、ジェット燃料など)を製造することにより、既存のインフラで「そのまま(drop-in)」すぐに使用することが可能。



(エタノールtoエチレン改質装置) (エチレンto炭化水素改質装置)

環境マネジメントシステムの実績

2000年から順次各工場でISO14001の登録認証を取得、2006年よりマルチサイト(※)で環境マネジメントシステムを構築し、環境活動に取り組んできました。

主な2019年度の取り組みは下記の通りです。

(※) マルチサイト(主な対象事業所)

三友プラントサービス： 本社、第一工場、第二工場、横浜工場、川崎工場、千葉工場、各営業所
 早来工営： 本社、川崎工場、札幌工場、処分場、堆肥化施設、大阪工場、大阪物流センター

	環境方針 重点取組事項	施策	対応	結果
三友プラントサービス	温暖防止対策推進、コスト削減	エネルギー使用量削減 エネルギー原単位削減 (前年度から1%削減)	節電啓蒙活動の実施 2019年度エネルギー原単位2.87%削減	達成
	操業停止事故撲滅	重大事故の洗い出し	洗い出された事故に対するリスク評価を実施 BCPの策定	継続
	PFOS含有廃棄物の適正処理の推進	安定的に処理 (横浜工場、千葉工場)	PFOS含有消火液の焼却分解処理実施	継続
	食品残渣の有効活用	コーヒー豆粕発酵飼料の製造増大 (横浜工場)	年間製造量 623t /年、製造継続	継続
	人材育成、技術力の向上	スキルマップの作成、評価	個人スキルの把握・平準化、OJT教育	達成
早来工営	お客様への信頼とサービスの向上	教育訓練方法の見直しと社員の技術力の向上	OJT教育の実施及びスキルマップの作成・運用	達成
	環境負荷の軽減及び汚染の予防	想定外の災害等による重大事故への対策	顕在若しくは潜在する重大事故対策	達成
	環境負荷の低減	安定操業とサービス向上 (札幌工場、大阪工場)	メンテナンス時間の短縮及び操業時間の拡大	継続
		地球温暖化防止に繋がる省エネ対策の推進(早来支店)	排水処理設備における省エネ対策	達成
安全操業の追及	構内作業における災害0(本社)	構内安全ルールの策定・運用 作業手順書見直し・作業標準書作成・運用	達成	

■ 外部規格認証

規格	ISO14001				
	会社	内部審査日	外部審査日	認証登録番号	有効期間
三友プラントサービス		2019年8月27日-9月19日	2019年10月28日-10月30日(維持)	JP06/070078 (認証機関 SGSジャパン(株))	2018年12月1日- 2021年12月1日
早来工営		2019年11月14日-11月26日	2019年7月1日-7月5日(維持)	JP07/070135 (認証機関 SGSジャパン(株))	2018年6月21日- 2021年6月21日



三友プラントサービス ISO14001審査登録証



早来工営 ISO14001審査登録証



早来工営 外部審査の様子

マテリアルフロー

工場事業活動に伴う環境負荷を把握し、その低減に取り組んでいます。
2019年度の環境負荷マテリアルバランスは下記の通りです。

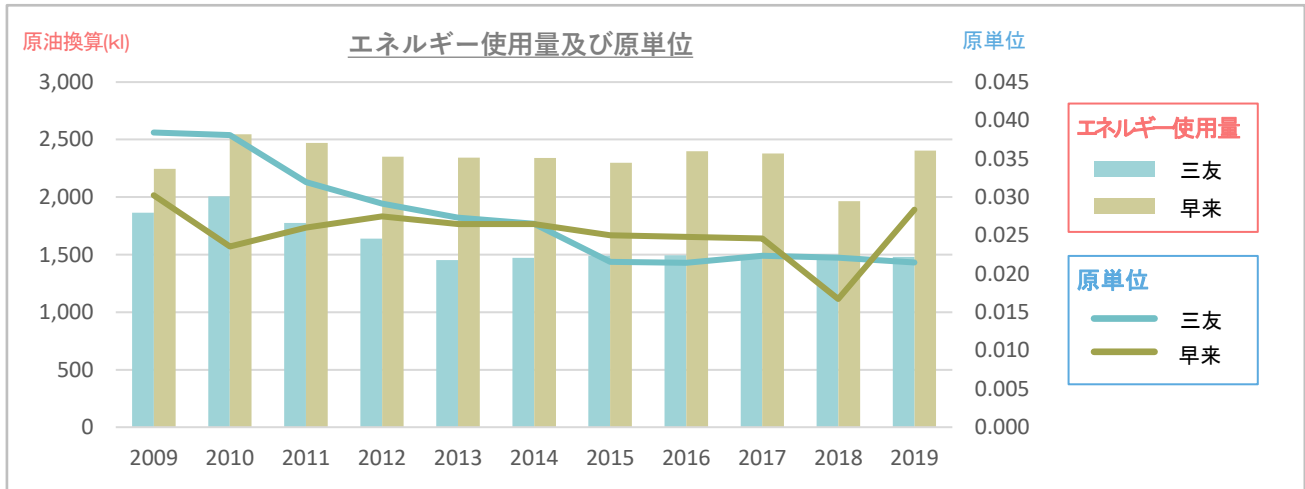


環境負荷低減の取り組み

エネルギー使用量

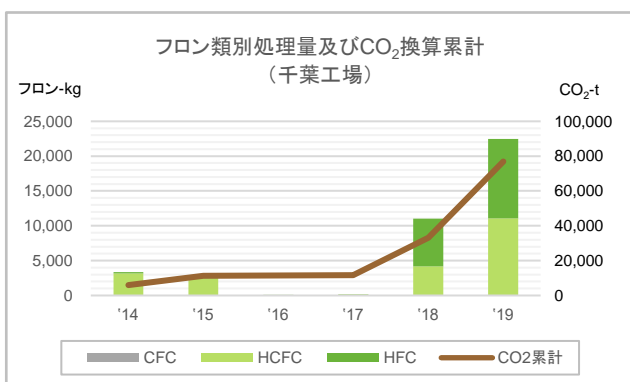
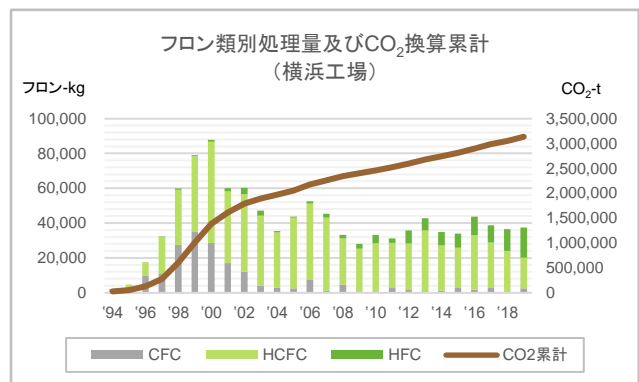
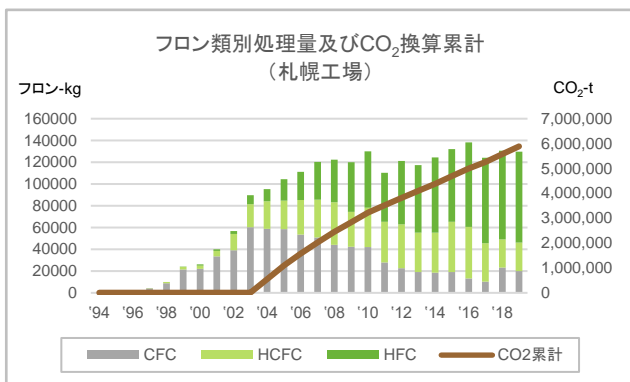
2009年度を基準年とし、「エネルギー使用量の削減」を継続してきていますが、今年度は三友プラントサービスおよび早来工営とも、2018年の焼却施設の事故の影響が響いています。

- ◆三友プラントサービスは、第一工場が事故から持ち直してきたとはいえ、受入物及び操業の大きな見直しにより、事故前に比較して8割弱のエネルギー使用量に留まりました。全体の廃棄物処理量に対する原単位は、横浜工場、千葉工場の削減もあり、昨年度から1.7%の削減となりました。
- ◆早来工営は、大阪工場の火災から4月より操業再開していますが、完全復帰には至らず縮小し、エネルギー使用量は事故前と同等になっており、非効率なエネルギー使用量となりました。全体の廃棄物処理量に対する原単位は1.15倍に増加しました。



フロン類の破壊処理による温室効果ガス削減

オゾン層保護と温暖化防止のため、フロン類の破壊処理を、横浜工場、札幌工場、千葉工場で実施しています。三友グループでは、1993年より横浜国立大学、浦野教授(現、名誉教授)の『フロンの破壊理論』の確立と実証のため数々の実験に協力をしてまいりました。その技術を習得し、1994年よりHFCを含むフロン類の破壊処理を行っています。



2019年度処理実績

フロン類(PFC含む)処理量 **189t**

CO₂排出量 約 **43万t**の削減

環境測定の実施状況

焼却炉、最終埋立処分場、化学物質中和装置、排水処理施設、汚染土壌浄化装置など三友グループが保有する各種処理施設の監視及び測定実施状況は下表のとおりです。

基本的方針は、法規制値より厳しい自主管理値を設定し、リスクマネジメントを徹底することです。各種処理施設などの測定結果はいずれも自主管理値を超過することはありませんでした。測定結果については、工場監査時などに開示すると共に、産廃情報ネット「優良産廃処理業者認定制度に係る公表事項」にて公表をしています。

施設	内容	排ガス			排水(放流水)・雨水			騒音	振動	臭気	廃棄物				地下	浄化済土壌	PFOS及びその塩類	放射性物質濃度、空間線量率	
		温度管理	焼却炉排ガス/スクラバー排煙	化学処理排ガス	抽出施設排ガス	水銀処理/排水のみ(放流なし)	放流水				雨水	燃え殻	汚泥	ばいじん					がれき類
三友プラントサービス	第一工場	焼却施設	◎	-	-	-	-	-	○	○	○	◎	-	-	-	-	-	-	
	第二工場	化学処理施設	-	○	-	-	◎	-	○	○	○	-	◎	-	-	-	-	-	
	横浜工場	焼却施設	◎	-	-	-	-	-	○	○	○	◎	-	-	-	-	-	○	
		化学処理施設	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
	千葉工場	焼却施設	◎	-	-	-	◎	-	○	○	○	◎	-	◎	-	-	-	○	◎*
	川崎工場	蒸留施設	-	-	-	-	-	-	◎	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
混合施設 固化不溶化施設		-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	◎	-	-	-	-	-	-	
早来工営	本社	土壌処理施設	-	-	○	○	○	-	-	-	○	-	◎	-	◎	○	○	-	-
	札幌工場	焼却施設	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	○	-
		化学処理施設	-	○	-	-	-	-	◎	◎	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
	早来支店	最終処分場	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	◎	-	-	○	-	-	-
大阪工場	焼却施設	◎	-	-	-	-	-	◎	○	○	◎	-	◎	-	-	-	○	-	

○：法・条例規制値にて監視 ◎：法・条例規制値よりも厳しい自主管理値で監視 -：非該当
※：放射性物質濃度、空間線量率(千葉工場)は調査義務免除申請が確認されたので、法律上の測定義務はありません

各工場に分析室があり、そのうちの4か所が計量証明事業所です。分析室では、上記の環境測定の他、安全かつ適切な処理を行うため受入廃棄物の分析をしています。

また、処理でお困りの廃棄物については、適切な処理方法を検討し提案しています。近年では、廃棄物のリサイクルを目的とした資源としての評価も積極的に取り組んでいます。

《環境計量証明事業所》

安平環境総合研究所、第二工場 分析室、横浜工場 分析室、川崎工場 分析室

《主な分析装置》

- ・誘導結合プラズマ質量分析計(ICP-MS)
- ・分光光度計
- ・ガスクロマトグラフ質量分析計(GC-MS)
- ・電子天秤
- ・イオンクロマトグラフィー
- ・pHメーター
- ・液体クロマトグラフィー
- ・イオンメーター
- ・蛍光X線分析装置
- ・蒸留器
- ・原子吸光光度計
- ・ボンベ型熱量計
- ・水銀用原子吸光光度計
- ・セタ密閉式引火点試験器 他



誘導結合プラズマ質量分析計 (ICP-MS)



蛍光X線分析装置



ガスクロマトグラフ質量分析計 (GC-MS)



フッ素蒸留器

低公害車の導入推進

環境負荷低減のため、産業廃棄物収集運搬車両に低公害車の導入を積極的に推進しています。

	低排出ガス車		低燃費車	
	台数	導入率	台数	導入率
三友プラントサービス (全26台)	23台	88%	19台	73%
早来工営 (全108台)	89台	82%	61台	56%

安全への取り組み

事故・災害ゼロへの取り組み

三友グループでは、2018年5月28日に第一工場で発生した電気集塵機の連結ダクト内爆発事故と2018年7月10日に大阪工場で発生した倉庫の火災の2つの事故を深刻に受け止め、外部有識者による専門家委員会を組織して災害事故防止対策への助言を受けましたが、その後も外部専門家2名に継続して事故・災害ゼロに向けた取り組みに参画いただいています。

◆ 安全衛生統括会議の組織

安全衛生管理体制を全面的に見直し、従業員10名以上の事業場に安全衛生委員会を設け、その上に三友グループ各事業場の安全衛生委員会を統括する安全衛生統括会議を組織してグループ横断的な見地で基本方針の決定、関与、指示を行っています。

安全衛生統括会議は、毎月外部専門家2名の参加を得て各工場に移動して開催しています。

◇外部専門家

氏名	経歴等
渡辺 一法	(公財)全国産業資源循環連合会講師、(公財)神奈川県産業資源循環協会 元専務理事、元神奈川県環境科学センター所長
二階堂 久	労働安全コンサルタント 廃棄物処理施設技術管理者

◆ 安全パトロール

安全衛生統括会議を毎月各工場で開催し、外部専門家の方々と共に安全面や法令順守状況についてパトロールしています。指摘事項については、各事業場と検討を重ね、対応をしています。

各事業場では、指摘事項の内容や廃棄物の保管状況、排水溝の確認、従業員の服装、保護具の確認、消火器・避難経路の確認などを毎月パトロールしています。



外部専門家と共に安全パトロール

<p>「指摘」 法改正前の掲示物です。使用してなければ、撤去してください。</p>	<p>「対策」 撤去しました。</p>	<p>「指摘」 消火器ボックスが破損しています。</p>	<p>「対策」 修理しました。</p>
---	---------------------	------------------------------	---------------------

◆ 安全衛生委員会

安全衛生委員会を従業員50名未満を含め全ての工場で毎月行っており、重点推進事項を年間スケジュールに定め、その内容について対策を講じ、問題点やヒヤリハット事例について検討を行っています。それらの内容は、安全衛生統括会議にて確認、情報の整理をし、各工場へ水平展開、教育訓練を行っています。

全国安全週間(2019年7月1日～7月6日)、全国労働衛生週間(2019年10月1日～7日)では、初日に社長メッセージが伝えられスタートし、各日、定めた行事項目を実施してまいりました。最終日には、振り返りや今後の取り組みについてミーティングを行い、無事終了いたしました。

また、日頃から自然災害への心構えとして、非常食の準備や消火訓練を行い、いざという時のために備えています。



安全衛生委員会にて
フォークリフトの危険運転教育



消火訓練にて火災事故
事例の説明



全国安全週間
津波を想定した避難訓練



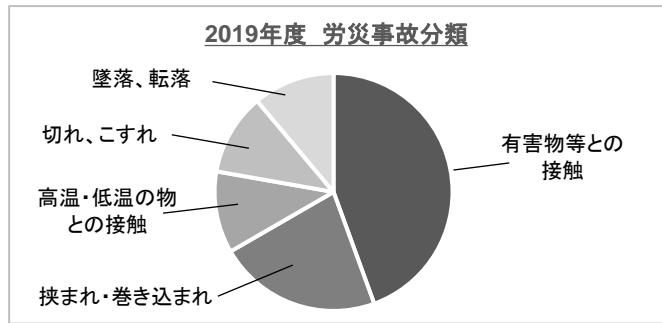
全国労働衛生週間
初日趣旨説明

労働災害

直近3年間の労働災害発生件数、及び2019年度の事故分類は次の通りです。

労災事故の要因は、有害物等の接触が4割を占めており、原因の究明や是正・予防措置を行ってまいりました。また、労災事例について定期的に周知をしています。

	労災発生件数		
	2017年度	2018年度	2019年度
三友	8	5	8
早来	2	2	1



安全運転の取り組み

他者に優しくプロドライバーとして誇りを持った運転を心がけ「安心・安全」な作業、走行をお客様に提供できるように努力をしてまいります。

◆ ドライバーに対する点呼

物流部門では、ドライバーに対面点呼を実施し、6項目のチェック項目を確認しています。また、長距離運行時など対面点呼ができないときは、運転の中間地点で、運転手自らが携帯アルコールチェッカーを用いて測定し、管理部門に電話で報告しています。デジタルタコグラフにより、安全な運行速度、およびアイドリング、労務管理を行っています。

【物流部門 ドライバーに対する点呼】

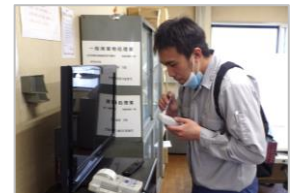
	健康状態	免許証確認	アルコール測定	安全運行確認・指示	車両の異常	積載物等の異常
運行前	○	○	○	○	○	—
中間	○	—	○	○	—	—
終業時	—	—	○	—	○	○



ドライバー対面点呼



アルコール測定



◆ ドライバーへの指導、危険予知訓練(KYT)

ドライバーへの指導年間計画表を作成し、定期的に行っています。

また、危険予知訓練(KYT)についても定期的に行っています。



指し呼称



危険予知訓練(KYT)

◆ Gマーク安全性優良事業所に認定

公益法人全日本トラック協会では、国土交通省の指導の下、利用者がより安全性の高いトラック運送事業所を選びやすくするために、事業所の安全性を評価・認定・公表する「安全性優良事業所」(Gマーク)認定制度を実施しています。

早来工営本社、大阪、札幌、早来の事業所は、「安全性優良事業所」として認定されています。



安全性優良事業所認定証
(左から 本社(川崎)、大阪、札幌、早来)

◆ 事業用自動車事故防止コンクール表彰

早来工営の物流部門では、令和元年事業用自動車事故防止コンクールにおいて、関東運輸局神奈川運輸支部及び神奈川県警察本部より表彰を受けました。今後も安全運転に努め、交通事故防止に取り組んでまいります。



表彰状及び看板

社員教育

業務の質の向上と社員各自の技術の向上につながるよう、資格取得を奨励し、定期的な教育や訓練の実施、および外部研修等への積極的な参加を推進しています。

資格取得の状況

廃棄物の処理等に係る主な資格の取得数は下記の通りです。社員の6割以上が特殊資格を取得しています。

【三友グループ特殊資格者数一覧】

(2020年3月現在)

特殊資格項目	人数	特殊資格項目	人数	特殊資格項目	人数
環境計量士(濃度関係)	10	酸欠硫化水素危険作業主任者	54	危険物取扱者 甲種	68
土壌汚染調査技術管理者	2	水質関係第1種公害防止管理者	34	危険物取扱者乙種第4類	165
産業廃棄物処理施設技術管理者	38	大気関係第1種公害防止管理者	23	フォークリフト運転免許	251
毒物劇物取扱者	11	ダイオキシン類関係公害防止管理者	26	大型特殊運転免許	72

講習会及び社内研修の受講

廃棄物や環境関連、法改正等の外部研修や講習会に積極的に参加し、最新の情報を入手しています。また、外部講師や社内講師による、廃棄物や安全講習をテレビ会議システムを用いて全社的に行いました。

主な講習会は下記の通りです。これらの情報は、社内講習会や社内ネットを用いて、全社で共有を図っています。

主な講習会と社内研修	
産業廃棄物実務者研修会 (公益社団法人全国産業資源循環連合会)	低圧電気取り扱い業務特別教育講師講座 (建設業労働防止協会)
除害施設維持管理講習会 (横浜市環境創造局)	アーク溶接等特別教育講師養成講座 (建設業労働防止協会)
A種除害施設等管理責任者講習 (横浜市環境創造局)	丸ノコ等取扱従事者教育講師養成講座 (建設業労働防止協会)
危険物取扱者保安講習 (神奈川県危険物安全協会連合会)	改元を目前に今すぐ実施すべき準備、対応とは (日本マイクロソフト・経済産業省)
令和元年度毒物劇物製造業者及び輸入業者講習会 (神奈川県健康医療局)	新たなコミュニケーションツール活用による「働き方改革」セミナー (M-SOLUTIONS株式会社)
バイオマスセミナー (廃棄物資源循環学会)	dbSheetClient基本セミナー (株式会社ニューコム)
Prominence(高速液体クロマトグラフ)メンテナンス講習会 (株式会社島津製作所)	アステリア ユーザー会 (アステリア株式会社)
職場巡視・点検セミナー (中央労働災害防止協会)	Power Platform Day (日本マイクロソフト株式会社)
はさまれ・巻き込まれ災害防止対策セミナー (中央労働災害防止協会)	Digital Innovation Seminar 2020 (リコージャパン株式会社)
チェーンソー以外の振動工具取扱作業管理者講習 (建設業労働防止協会)	NEW環境展 (日報ビジネス株式会社)

新入社員教育

2019年度は7名が入社しました。入社時には、新入社員研修、安全衛生教育講習(労務安全衛生協会)、ビジネスマナー研修(外部)、フォークリフト講習(外部)を経て、それぞれの配属先にて、消火訓練や安全作業、基本作業、メンテナンスの基本作業、工具取扱の基本作業、電動工具取扱の基本作業、工場内でのフォークリフト運転、ISO環境一般教育、各工場での特定作業(危険物取扱、廃棄物受入・選別作業、化学処理、焼却処理、ダイオキシン類取扱)の教育訓練を行いました。

【感想】

- ・上司や先輩方に仕事を優しく丁寧に教えていただきました。
- ・休憩時間等も話しかけてくれて、助かりました。
- ・得た知識を活用し、作業を身につけている段階です。
- ・先輩方に教えてもらいながら2年目も頑張ります。
- ・今年後は先輩を指導しつつ、自分のスキルを磨きたいです。



電動工具取り扱い



消火訓練

社員の教育

私たちが扱う廃棄物は、有害性・爆発性・発火性など処理が困難な化学物質が多くを占めています。受け入れや処理時の事故ゼロを目指し、年度計画を策定し、専門教育と緊急訓練に力を入れております。全社員には、知識と情報を蓄積させるため、様々な教育プログラムを実施しています。

◆ 教育訓練

教育訓練は、環境パフォーマンス、順守義務に影響を持つ作業について実施しています。著しい環境影響の作業は、「特定作業」と位置づけ、作業開始前の教育及び実際の職務現場を通して学ぶ訓練のOJT(「On-The-Job Training」の略称)を実施しています。

評価は、スキルマップを用い3か月ごとに行い、個人の力量を明確化しています。力量が認められた者のみ、「特定作業」に従事しています。

教育訓練（特定作業）					
焼却処理管理	[三友、早来]	フロン取扱	[三友、早来]	ジブクレーン運転	[早来]
化学処理作業	[三友、早来]	ダイオキシン類取扱	[三友、早来]	管理型・安定型処分場保守業務	[早来]
分析測定業務	[三友、早来]	廃棄物受入・選別作業	[三友、早来]	廃棄物固化・不溶化処理管理	[早来]
危険物取扱	[三友、早来]	収集運搬業務	[早来]	廃酸資源化運転管理	[三友]
土壌処理管理	[早来]	営業業務	[三友]	堆肥化施設運転管理業務	[早来]

※構内フォークリフト、玉がけ作業、車両系機械作業、クレーン作業、圧力容器取扱い等は外部講習等を受講しています。



焼却処理管理



電気工具の取り扱い

◆ 緊急事態訓練、防災訓練、安全講習会

特定された緊急事態は、緊急事態対応手順書を作成し、模擬的な緊急事態訓練を行い手順書の有効性を確認しています。災害を想定した防災訓練や外部講師による安全講習会についても実施しています。

2019年度 緊急事態訓練及び防災訓練の主な実績

	特定した緊急事態
三友	<ul style="list-style-type: none"> 緊急停止時の異常排ガスの排出 容器破損による廃棄物の漏れ 化学処理異常反応によるスクラバーからの有害ガス放出
早来	<ul style="list-style-type: none"> 運搬中の積荷の漏れ、落下 前処理室からの不慮の火災 安定型及び管理型処分場における自然発火による火災 PL炉の非常ダンパからのガスの放出



工場停止時の対応



化学処理異常反応の対応



訓練事前説明



積荷の漏洩対応



大阪880万人訓練



消火訓練

西成自衛消防協議会主催の消防技術大会

大阪工場は、「西成自衛消防協議会消防技術大会」に15年連続で参加しています。この大会を通して、毎年防災に対する意識を高めています。



西成自衛消防協議会消防技術大会



川崎地区 消火訓練と安全作業教育

消火訓練では、消火器による訓練や送水作業員と消火作業員が離れている場合を想定した、手信号による伝言リレーを行いました。安全作業教育では、安全作業や緊急時の避難場所の確認、資機材の点検等について教育を行いました。また、スマホサイズの「安全作業の手引き」を作成し、協力会社を含む川崎構内社員全員に配布しました。



手信号による伝言リレー



安全作業の手引き

地域社会の活動や社外の研修などに協力をし社会貢献に努めています。

2019年台風15号の災害支援

千葉県に上陸し、大きな被害をもたらした台風15号の災害支援として、東金市滝沢地区に水(500ml)24本×100箱、九十九里町役場に屋根用の新品ブルーシート154枚を寄付いたしました。また、千葉工場の地域の方とともに倒木の撤去作業を行いました。



支援物資(ブルーシート)



倒木除去の様子

安平町より特別感謝状表彰

2018年9月に発生した北海道胆振東部地震では、被災された方々に鶴の湯温泉を開放しました。それについて安平町より令和元年度町政功労等表彰式にて特別感謝状をいただきました。



安平町より特別感謝状



令和元年度町政功労等表彰式

研修に協力

国内外の団体、企業の研修を受け入れました。

- ◇ (一財)日本環境衛生センターの研修
中国環境企業が参加〈7月〉
- ◇ (一財)JCCP国際石油ガス協力機構の研修
10ヶ国のエンジニアが参加〈10月〉
- ◇ モンゴル国企業による研修
ELEMENTLLC社(廃棄物処理企業)の社員研修〈2月〉



(一財)日本環境衛生センター研修の様子



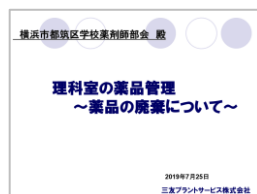
ELEMENTLLC社研修の様子

【内容】 三友グループ各施設の特徴、廃棄物処理の管理運営等の説明後、廃棄物処理施設、分析室及びコーヒーリサイクル施設の見学を行いました。

都筑区学校薬剤師研修会にて講演

都筑区学校薬剤師会の研修会にて、廃棄物処理で培った技術や経験を生かし講演をいたしました。

- 【内容】 「理科室の薬品管理“薬品廃棄”について」
- 【感想】 とてもわかりやすく、質問にも丁寧にお答えいただき、今後の学校薬剤師の活動にプラスになると思います。



講演会の資料



都筑区学校薬剤師会研修会講演の様子

地域清掃活動

環境美化・地域貢献の一環として近隣の公園や会社周辺の清掃を行っています。また、地域の清掃イベントにも積極的に参加しています。

- 《参加した清掃イベント》
- ・相模川クリーン作戦〈6月〉
- ・金沢産業団地幹線道路一斉清掃〈11月〉



相模川クリーン作戦の様子



川崎扇町地区清掃の様子

地元の自治会の地域自主防災訓練に協賛

三友プラントサービスの本社及び第一工場の地元の橋本1丁目自治会様が地域自主防災訓練を開催しましたが、地域の一員として運営に協賛をいたしました。

- 【日 時】 2019年7月6日(土) 10:00~12:00
- 【場 所】 三友プラントサービス本社 会議室、駐車場
- 【内 容】 地域自主防災訓練 消防署からの説明、起震車体験、煙体験、消火器訓練、AED講習
- 【主 催】 橋本1丁目自治会様
- 【協 賛】 三友プラントサービス

当日は、会議室にて消防署からの防災についての説明、駐車場にて起震車体験、煙体験、消火器訓練、AED講習があり、お子様を含む多くの地域の皆様に参加されました。当社からも社長を始め多くの従業員が訓練に参加し、防災を通して地域の皆様と交流ができました。

《橋本1丁目自治会様からの感想》

地域自主防災訓練を久しぶりに開催することができ良かったです。



消防署からの説明



起震車 震度7体験



煙体験ハウス



消火器体験



AED講習

自治体 生ごみ資源化

早来工営のコンポスト工場では、北海道安平町及び厚真町のご家庭から出る生ごみを堆肥化しています。

この事業は、1997年より一般廃棄物処分業の許可を取得し、年間約800tの生ごみをリサイクルしています。

製造した堆肥は、農作物や最終処分場の植林等に使用しています。

これからも安平町及び厚真町のリサイクル活動に貢献したいと考えています。



コンポスト全景



発酵装置

安平町の観光事業に貢献

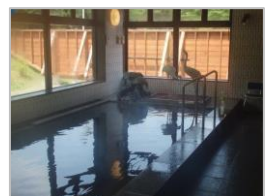
早来工営は、北海道安平町より要請を受け、明治初頭に開湯した由緒ある温泉である「鶴の湯温泉」を2010年より運営しています。

自然豊かな庭園が広がり、特に夏に咲くハスの花が有名です。また、日頃のご愛顧に感謝し、8月下旬には「第5回ハス祭り」を開催しました。

地域の皆さんに喜んでいただけるよう、今後も一層努力してまいります。



温泉ハス祭りの様子(8月下旬)

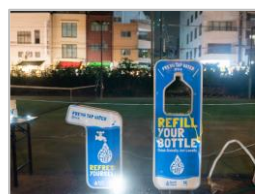


鶴の湯温泉

『天神祭ごみゼロ大作戦2019』に協賛

日本三大祭のひとつである大阪の「天神祭」では、「天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会」が廃棄物の3R・適正処理を促進するためのごみゼロ活動をしています。

早来工営では、この活動である『天神祭ごみゼロ大作戦2019』に協賛をさせていただきました。



マイボトル持参者のための給水スポット



天神祭ごみゼロ大作戦2019ポスター

環境コミュニケーション

工場の安全稼働や廃棄物処理法に基づいた厳格な管理状況をお客様や近隣住民などステークホルダーの皆様に見ていただくため、施設見学や監査を積極的に受け入れています。更に、事故や災害などリスクコミュニケーションの観点でも、近隣住民や行政に情報開示しています。

また、私たちの取り組みを皆様に紹介するため、ホームページの情報媒体を活用して定期的に情報発信を行い、2019年度は57件の情報をお届けしました。

施設見学の受け入れ

851団体の皆様が施設見学に来社されました。多くは、お取引のあるお客様による処理施設や適正処理の確認でした。また、インターンシップや国内外の研修の受け入れも行いました。

横浜工場の施設視察

弊社千葉工場が位置する千葉県東金市を含む三市町の一般廃棄物処理施設「東金市外三市町環境クリーンセンター」の運営協議会様が、委員の研修を目的として11月に横浜工場へご来場されました。横浜工場では焼却設備、分析設備のほかに、コーヒー豆かすの飼料化設備も視察されました。

委員の皆様には、「身近なごみがリサイクルされている様子が分かった」と、ご好評いただきました。



視察の様子

お客様からの声

施設見学をしていただいた方々にアンケートのご協力をお願いしております。(102件/2019年度 結果、下表) アンケートで頂きました、回答・ご意見・ご要望をもとに安全な環境作りを推進しております。今後も皆様に安心していただけるよう進めてまいります。

【2019年度 施設見学アンケートの結果】

項目	満足度	項目	満足度
社員の対応	95 %	安全対策	86 %
場内の整理整頓	88 %	処理方法	94 %

社外への定期的な情報発信

- ・ 橋本1丁目自治会様との協定書締結
(防災、交通安全、環境保全等の事項で、交互に連絡窓口を設けて定期的に協議を行い、共助による地域活性化を実現する。)
- ・ ホームページの定期更新
- ・ 産業廃棄物処理業の許可一覧、許可証をホームページにて公開
- ・ 契約の約款をホームページにて提供
- ・ 優良産廃処理業者認定制度に係る公表事項を産廃情報ネットにて公開
- ・ 社長ブログを発信
- ・ 環境・社会報告書を毎年発行
- ・ 三友グループのトピックスを毎月発行(タイトル『ENVIRONMENTAL-TOPICS』)

早稲田大学小野田研究室との勉強会を開始

早稲田大学理工学部で循環型社会や低炭素社会の高度化に向けて新たな技術開発や先進的な社会システムの研究・開発を行っている小野田先生と当社で勉強会をスタートしました。

今後は勉強会を重ね、共同研究まで進めていく計画です。



早稲田大学にて勉強会



川崎工場の見学

アンケート

2020 三友グループの取り組み（環境・社会報告書）

FAX 042-779-6571

「2020 三友グループの取り組み（環境・社会報告書）」をお読みいただきありがとうございました。
当グループは、皆様方とのコミュニケーションを一層深めながら、環境保全に積極的に取り組みたいと考えています。
今後の活動および情報公開改善のために、皆様の率直なご意見・ご感想をお聞かせください。

Q.1 本報告書をお読みになってどのように感じられましたか

- | | | | |
|-----------|---------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 1) わかりやすさ | <input type="checkbox"/> わかりやすい | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> わかりにくい |
| 2) 読みやすさ | <input type="checkbox"/> 読みやすい | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 読みにくい |
| 3) 情報量 | <input type="checkbox"/> 充実している | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 不足している |

Q.2 特に興味をもたれた記事をお選びください(いくつでも)

- | | | |
|--------------------------------------|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> トップメッセージ | <input type="checkbox"/> 三友グループ事業概要 | <input type="checkbox"/> 数字で見る三友グループ |
| <input type="checkbox"/> トピックス | <input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステムの実績 | <input type="checkbox"/> マテリアルフロー |
| <input type="checkbox"/> 環境負荷低減の取り組み | <input type="checkbox"/> 安全への取り組み | <input type="checkbox"/> 社員教育 |
| <input type="checkbox"/> 社会貢献活動 | <input type="checkbox"/> 環境コミュニケーション | |

Q.3 三友グループの環境・社会への取り組みをどのように感じられましたか

- | | | |
|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 評価できる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 評価できない |
|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|

Q.4 本報告書をどのような立場からお読みになりましたか

- | | | | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|---|-------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> お客様 | <input type="checkbox"/> お取引先 | <input type="checkbox"/> 当社事業所が立地する地域の方 | <input type="checkbox"/> 教育機関 | <input type="checkbox"/> 学生 |
| <input type="checkbox"/> 当社グループの社員・家族 | <input type="checkbox"/> その他 () | | | |

Q.5 ご意見・ご感想・ご要望などご自由にお書きください

差し支えなければ、お客様ご自身について以下もご回答ください。

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1) <input type="checkbox"/> 弊社(営業)担当者: _____ | <input type="checkbox"/> 特になし |
| 2) <input type="checkbox"/> 会社名: _____ | <input type="checkbox"/> 個人 |
| 3) ご連絡先 氏名: _____ | 部署・役職名: _____ |
| E-mail: _____ | |
| 住所: (〒 -) _____ | |

ご協力ありがとうございました。お手数ですが下記FAX番号までお送りください。

FAX 042-779-6571

お問合せ先 三友プラントサービス株式会社 環境・社会報告書 担当
〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台1-8-21 TEL 042-773-1431
メールアドレス kankyo@g-sanyu.co.jp

<個人情報の取り扱いについて>
お寄せいただいたご意見・ご感想は、今後の当グループの取り組みや、次回の報告書作成の参考とさせていただきます。
アンケート内容や個人情報は適切に管理し、この目的以外の利用や第三者への提供はいたしません。

三友グループの行動指針

- ◆ 常にお客様の立場に立ち、スピード感を持って行動します
- ◆ 人権を尊重し、法令、内規を遵守し、反社会的勢力との関係を一切持ちません
- ◆ プロフェッショナルとして責任を持った行動をします
- ◆ 連絡・合図・報告を徹底します
- ◆ チャレンジ精神を持って知識とスキルを磨き、向上し続けます

SANYU-GROUP

三友プラントサービス株式会社

神奈川県相模原市緑区橋本台一丁目8番21号

TEL : 042-773-1431

早来工営株式会社

神奈川県川崎市川崎区扇町6番1号

TEL : 044-328-7341

三友エンテック株式会社 東京事務所

東京都港区芝三丁目22番7号 芝NKビル3F

TEL : 03-5439-5696